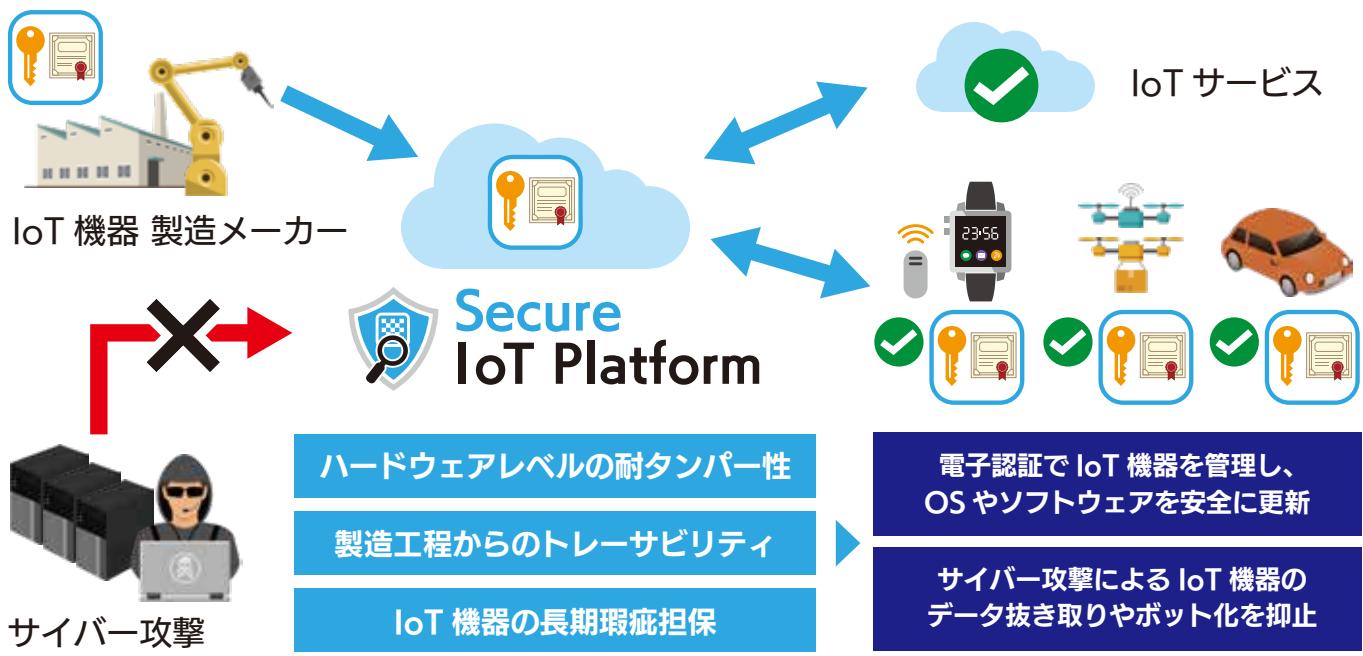




IoT 機器・サービスの統合管理基盤

# Secure IoT Platform<sup>®</sup>

Secure IoT Platform<sup>®</sup>は、IoT機器の真正性を担保し、サイバー攻撃の脅威からIoT環境を守ります。



IoTをより安心・安全に使いこなせる社会を実現するために

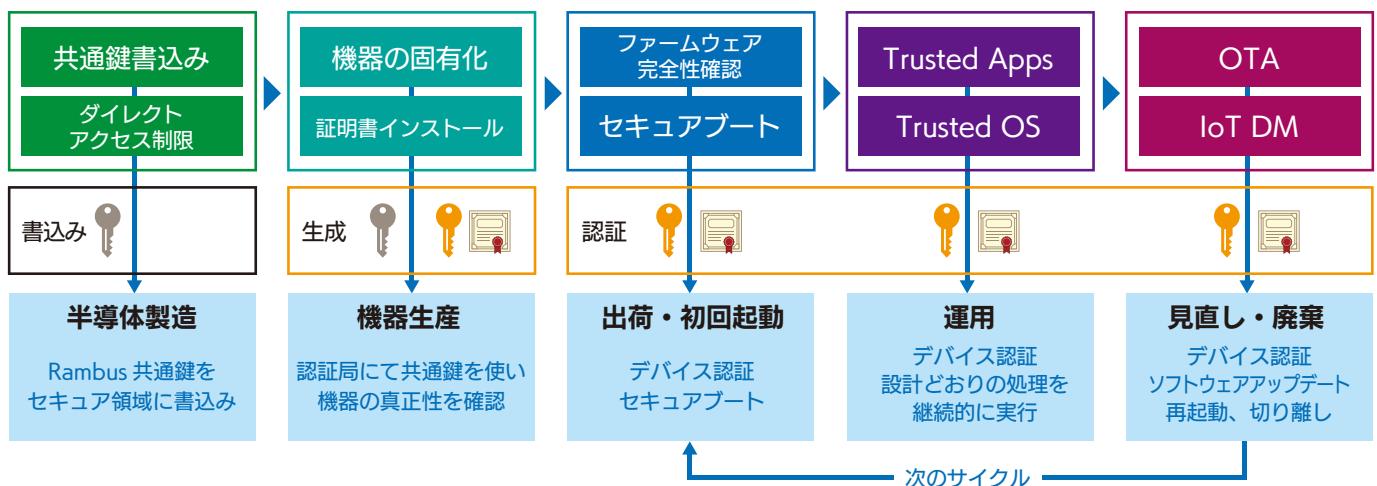
本格的な IoT 社会が到来し、数多くの機器がネットワークに接続しています。IoT 機器は機器の数が多いだけでなく、利用する場所が移動するものやオープンなスペースに設置されているもの、動作に使えるリソースが限られセキュリティ機能を盛り込むことが難しいものもあります。

またこれらの特徴を突くサイバー攻撃も後を絶たず、IoT機器が乗っ取られたり、ボット化したIoT機器によるインターネットサービスへのDDoS攻撃も発生する等、社会全体で取り組むべき課題となっていました。

Secure IoT Platform<sup>®</sup>は、IoT機器の正当性確保、個体認証、継続的かつセキュアなアップデート(OTA)により IoT機器のセキュリティ性を高め、乗っ取りやボット化を防ぐ新しいソリューションです。

Secure IoT Platform<sup>®</sup>により、IoT機器の製造段階における電子認証基盤(認証鍵と証明書)を実装し機器の正当化を確保するほか、バグや脆弱性に対する継続的なアップデートで運用を強固にすることができます。

## Secure IoT Platform®は、IoT機器のライフサイクルを通じ一気貫通でセキュリティを管理します。



**Root of Trust** : IoT 機器のトレーサビリティと真正性・実在性の証明で実現

**長期瑕疵担保** : IoT 機器のセキュアアップデートとプロビジョニング機能で実現

## Secure IoT Platform®は、以下のコンポーネントで構成されます。

製品	内容
Rambus CryptoManager	半導体にあらかじめRambus共通鍵を書き込み。製品初期化時に個体シリアル番号と組合せ共通鍵を個体化し、ワントライムトークンと組合せ秘密鍵まで生成する
CyberTrust PKI	Rambus CryptoManagerが生成した秘密鍵をもとに認証局で公開鍵と電子署名を発行し、製品初期化時にデバイスに公開鍵/電子署名をインストールする
Rambus IoT Device Management	電子証明書付き公開鍵を使いDeviceを特定し、Deviceのヘルスチェックとプロビジョニング機能を提供する
MIRACLE Secure OTA	電子証明書付き公開鍵を使いDeviceを特定し、ファームウェア、OS、その他Securityソフトのパラメータファイルのアップデート機能を提供する
MIRACLE TrustedOS	TrustZoneを活用した、Secure Worldで特権モードで動作する専用OS。鍵管理、証明書管理、Device管理、プログラム更新の処理を安全に実施する
組込みSecurity Partnership	Trend IoT Security (IDS/IPS) + Bitdefender (アンチマルウェア) + デバイス認証

本製品に関する情報 <https://www.cybertrust.co.jp/iot/>